

岩村田商店街が提供する若者の働く機会を醸成する事業

取組に至る背景・事業の目的

- 不登校、ひきこもり、発達障がいなど様々な問題を抱え、活躍の場が制限されている又は制限している若者が増加している。
- 商店街という社会資源を十分に活用して地域と連携しながら、様々な困難を抱える若者たちに学ぶ場と「働く」「参加する」機会を与えることで自信をつけさせ、自立に導くよう支援を行う。



【実社会を意識したビジネスマナー講座】

事業内容

- 支援が必要な若者向けの各種講座を実施
- 特別支援クラスに在籍する生徒をはじめとした小中校生向けの前期、後期それぞれ 10 回の「基礎学力講座」を開催
- 「就業支援のための基本講座」を開催し、高校生等向けにビジネスマナーやパソコン実務などを指導
- 高校生が商店街イベントの企画実務まで携わる「イベント実践講座」を開催



【祇園祭での販売実習】

事業効果

- 各種講座には延べ 363 人の子ども達が参加し、特に小中学生では、学校に行けず自宅にひきこもっていた生徒や特別支援クラスの在籍生徒など、いろいろな事情のある生徒に対しそれまでの世界では考えられなかったステージを与えることができた。
- ビジネスマナーやパソコン操作を習得する中で、子ども達にも少しずつ社会の中で生きることの実感を持ってもらえた。
- 当初は自分を出すことをためらっていた子どもたちが、商店街のイベントへの参加や就業体験を通して様々な大人と関わり合う中で自分に自信が持てるようになった。
- 本事業は、「第4回キャリア教育アワード」において経済産業大臣賞及び大賞を受賞しモデル的な事例として全国的に発信された。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 子ども達が1か所でも、1回でも「できる」という気持ちを持ち、自信が持てるよう誘導しながら指導にあたった。
- 学力が個々に異なる子ども達に対して、専用のソフトを導入して独自のカリキュラムを作成した。
- 今回構築した就業支援プログラムをさらに発展させる形で、「自立」と「社会で生きられる力」を醸成できるプログラムに進化させたい。
- 商店街という社会環境を活かし地域で子どもを育てることにより活性化につながるだけでなく、「地域を愛する子ども」を育てていきたい。

【選定のポイント】
 不登校、ひきこもりなど支援が必要な若者を対象にビジネスマナー講座とパソコン実務講座を実施した。（全講座の延べ参加者数 363 名） 特に、商店街を地域コミュニティの中心を担う社会資源ととらえ、近隣の中学校・高校とも連携しながら地域ぐるみで取り組んでいる点が評価できる。

団体名 岩村田本町商店街振興組合（佐久市） 連絡先 0267-54-8339 ホームページ http://www.iwamura.com/shop/terakoyajuku/ メールアドレス terakoyajuku@iwamura.com	事業タイプ ソフト事業 事業費 2, 283, 000円 支援金額 1, 826, 000円
--	--